

リアテックは2025年に
発売30周年を迎えます。

30th
Anniversary
REATEC

sangetsu

日装連新聞

4月号 2025/令和7年 No.575

発行所
日本室内装飾事業協同組合連合会
Japan Interior Decoration Association (JIDA)

〒105-0013
東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル2階
Tel(03)3431-2775 Fax(03)3431-4667

月刊●毎月15日発行●講読料 年間2,400円 1部200円

【4号建築物の区分を変更】



出所：国土交通省

「4号特例」の見直しで確認申請が必要に

木造戸建住宅の大規模リフォーム

国土交通省は、2025年4月施行の改正建築基準法により「4号特例」を見直し、これまで免除されてきた「4号建築物」への大規模リフォームに対する確認申請を義務付けるとした。違反には罰則（1年以下の拘禁刑または100万円以下の罰金）が課せられる。◆

とも、「4号建築物」(2階建て以下の小規模な木造住宅等)に適用される特例のことで、通常は確認申請が必要になるような大規模なリフォーム工事の場合でも、「建築士が設計をしている」「あるいは「建築士が設計図書どおりに施工が行われていることを確認している」など一定の条件をクリアすれば審査を省略できるという制度である。「4号建築物」は多くの戸建住宅が該当しており、「4号特例」の存在はリフォーム需要の拡大にも大きく寄与してきた。

今回「4号特例」が見直された背景とは、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた住宅の省エネ化推進がある。2025年4月から原則すべての住宅を含むすべての建築物に省エネ基準への適合が義務付けられたが、既存住宅の大多数を占める「4号建築物」の大規模リフォームにおいて建築確認申請が免除されている状態では、省エネ基準適合のチェックができないためだ。今回の改正により既存住宅の省エネ化をより推進する。

具体的には「4号特例」の見直し内容であるが、まず「4号建築物」が「新2号建築物」と「新3号建築物」に区分される。「新2号建築物」とは木造2階建て以上、または木造平屋建てで延床面積が200㎡を超える建物、一方の「新3号建築物」は延床面積200㎡以下の平屋建てが該当する。

このうち「新2号建築物」の大規模なリフォームに確認申請が必要となる(「新3号建築物」は引き続き不要)。それでは建築確認申請が必要となる大規模なリフォームとはどのような工事なのか。定義としては主要構造部(屋根・壁・柱・梁・床・階段)のうち一つ以上について過半の修繕や模様替えをすることとされている。国交省では、この定義の判断を分かりやすくまとめたフローチャート(左表)を公表しているのだ、それをもとに説明していく。

まず主要構造部を改修するかどうかを確認する。主要構造部とは屋根・壁・柱・梁・床・階段のことで、構造上重要ではない間仕切り壁や間柱、ひさし、局部的な小階段、屋外階段

今回の「4号特例」が見直された背景とは、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた住宅の省エネ化推進がある。2025年4月から原則すべての住宅を含むすべての建築物に省エネ基準への適合が義務付けられたが、既存住宅の大多数を占める「4号建築物」の大規模リフォームにおいて建築確認申請が免除されている状態では、省エネ基準適合のチェックができないためだ。今回の改正により既存住宅の省エネ化をより推進する。

具体的には「4号特例」の見直し内容であるが、まず「4号建築物」が「新2号建築物」と「新3号建築物」に区分される。「新2号建築物」とは木造2階建て以上、または木造平屋建てで延床面積が200㎡を超える建物、一方の「新3号建築物」は延床面積200㎡以下の平屋建てが該当する。

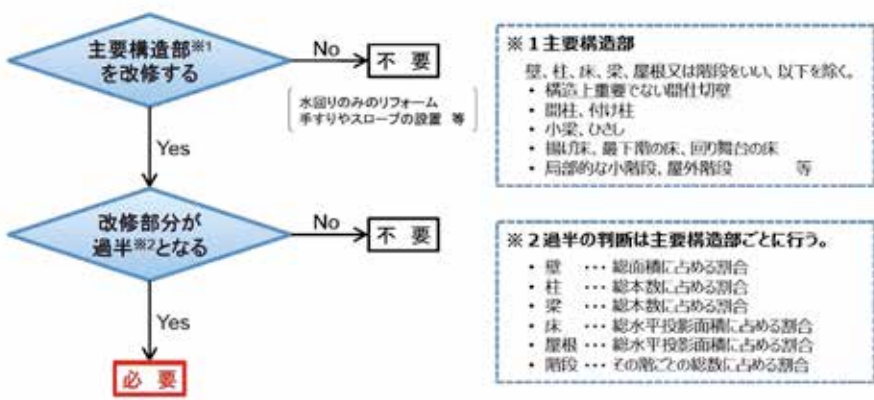
このうち「新2号建築物」の大規模なリフォームに確認申請が必要となる(「新3号建築物」は引き続き不要)。それでは建築確認申請が必要となる大規模なリフォームとはどのような工事なのか。定義としては主要構造部(屋根・壁・柱・梁・床・階段)のうち一つ以上について過半の修繕や模様替えをすることとされている。国交省では、この定義の判断を分かりやすくまとめたフローチャート(左表)を公表しているのだ、それをもとに説明していく。

まず主要構造部を改修するかどうかを確認する。主要構造部とは屋根・壁・柱・梁・床・階段のことで、構造上重要ではない間仕切り壁や間柱、ひさし、局部的な小階段、屋外階段

大規模リフォームにおける確認申請の必要性

建築物の種類	改正前	改正後
木造平屋建て (200㎡以下)	不要	不要
木造平屋建て (200㎡超)	不要	必要
木造2階建て	不要	必要
木造3階建て以上など	必要	必要

木造戸建のリフォームにおける建築確認手続の要否判断 (フローチャート)



出所：国土交通省

主なニュース

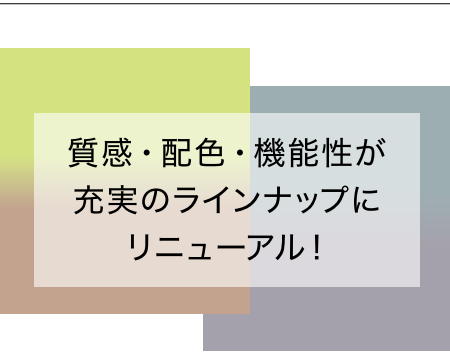
- 2面 登録内装工事基幹技能者講習日程
- 3面 人材開発支援助成金について
- 4面 日里協コラム51
- 5面 談話室 広島組合副理事長
- 8面 最前線探訪97
広島県室内装飾事業協同組合



NEW

LARC Shield

ロールスクリーン ラルクシールド



質感・配色・機能性が
充実のラインナップに
リニューアル!

電動のホームタコスがさらに便利に快適に。

近くにコンセントがない場合に便利な
「バッテリー仕様」に対応開始!

「スマホ操作」も可能です!



NEW

LINE DRAPE

タテ型ブラインド ラインドレープ

登録内装仕上工事基幹技能者講習

令和7年度
スケジュールを発表

日装連、全室協、ジェイシフの内装3団体で運営する登録内装仕上工事基幹技能者推進協議会はこのほど「令和7年度登録内装仕上工事基幹技能者講習」の会場と日程を決定した。

令和7年度は、愛媛会場（7月16日（水）～18日（金）／ホテルグランフォーレ）、東京会場（8月6日（水）～8日（金）／日本教育会館）、大阪会場（9月8日（月）～10日（水）／エル・おおさか）、岡山会場（10月15日（水）～17日（金）／会場未定）、神奈川会場（12月3日（水）～5日（金）／神奈川中小企業センタービル）の5会場を予定、今後さらに状況に応じて会場の追加を行う。

同講習の受験要件は、①10年以上の実務経験、②3年以上の職長経験、③内装仕上工事に関する1級技能士（内装仕上げ施工、および表装（壁装作業））、または1級建築施工管理技士、または2級建築施工管理技士（仕上げ）の資格を有している者。

同講習の受講には助成金を活用できる。

また資格更新者向け（5年に1度）の更新講習（通信講習）も行う。日装連関係で今年度対象者は計142名（取得年は平成22年、

27年、32年および令和2年）。

なお「登録基幹技能者」とは、熟達した作業能力、現場を効率的にまとめるマネジメント能力、および豊富な知識を備え、かつ専門工事関連団体が主催する国交大臣登録講習を修了した技能者のこと。

「登録内装仕上工事基幹技能者」に認定されると建設キャリアアップシステムの最上位レベル（ゴールドカード）となる。また同技能者が在籍する会社は、経営事項審査で3点（一人当たり）の評価ポイントが加算されるメリットがある。

令和7年度
登録内装仕上基幹技能者講習スケジュール

会場	日程	会場／住所	定員	締切
愛媛	7月16日（水）～18日（金）	ホテルグランフォーレ 四国中央市三島朝日1丁目1-30	40名	6月18日（水）
東京	8月6日（水）～8日（金）	日本教育会館 千代田区一ツ橋2-6-2	80名	6月30日（月）
大阪	9月8日（月）～10日（水）	エル・おおさか 大阪市中央区北浜東3-14	90名	7月30日（水）
岡山	10月15日（水）～17日（金）	未定（決定次第日装連ホームページにて公開）	未定	未定
神奈川	12月3日（水）～5日（金）	神奈川中小企業センタービル 横浜市中区尾上町5-80	80名	11月5日（水）

この報告がなされ承認された。

③2025年度委員会事業計画（案）の承認について

2025年度委員会事業計画（案）の読み上げが行われた。事業報告の内容にもあった壁装ラベルの印字ルール統一への各組合の対応について進捗状況を確認していき運用の徹底を図っていくこと、壁装ラベル申請システムの周知及び活用を進め、利便性向上や効率化を図っていくことなどが承認された。

④壁装ラベル申請システムの周知・運用について

今年度の委員会活動の大きな柱として位置付けている壁装ラベルの申請システムの周知及び運用について討議がなされた。

今後システム導入をしていく組合が増えていくことが予想されることから、操作方法など申請システムに関する説明会の実施などについて検討を行った。具体策は次回以降、さらに検討を進め実施していくこととした。

⑤建設キャリアアップシステム及び能力評価申請のワンストップ化について

これまで新規登録時は必ずレベル1のホワイトカードからスタートし、就業日数や資格要件に応じて後日、能力評価申請を改めて行う2段階方式で運用されてきた同システムにワンストップ化という新たな機能が実装され、新規登録と同時に能力評価申請ができるようになったことが報告された。これにより申請の手間が簡略化され申請者にとっての利便性が向上したことから、さらなる周知を日装連新聞等を通じて行っていくこととした。

最後に竹内担当副理事長より締めめの挨拶を頂戴し閉会となった。

【出席者】（敬称略）
竹内剛（副理事長・広島）、白石典正（委員長・京都）、中村純也（委員・秋田）、中村武久（委員・三重）、大和田謙介（事務局・日装連）

6月

6日 常任理事会、第19回 JAPAN TEX2025表者会議

30日 消防機器協会会長表彰式典

14日 情報・流通委員会

13日 常任理事会、第233回理事

5月

17日 総務委員会

18日 常任理事会

24日 監事監査会

11月

18日 常任理事会、第234回理事会、日装連理事・全国組合理事長会、講演会、懇親会

19日 青年部 全国代表者会議

5日 登録基幹技能者試験・講習委員会

234回理事会、第59回通常総会、講演会、日里協総会、懇親会

日装連行事

日装連会議録

日ID教育資格委員会
4月2日開催

2025年度
日ID試験実施計画を議論

日装連では、4月2日13時30分より日ID・教育資格委員会を開催した。

冒頭、大石担当副理事長より本日の議案事項への活発な議論をお願いする旨の挨拶が行われ、その後会議次第に則り討議が行われた。

報告・審議事項
①2024年度委員会事業報告（案）の承認について

ID社内検定試験の収支報告も行われた。

②2025年度委員会事業計画（案）の承認について

続いて2025年度委員会事業計画（案）の読み上げが行われた。主な計画内容は2年目となる日ID社内検定試験の実施に向けた対策をしっかりと講じていくこととし、こちらも特段の異論はなく全会一致で承認された。

③2025年度日ID社内検定試験実施に向けた検討

2024年度の試験実施により顕在化した課題に対する改善案や受験者確保に対する施策について議論を行い、2025年度の試験実施に向けて活発な意見が交わされた。併せて実施スケジュールについても討議を行い、試験日程などの実施計画の策定を行った。

3時間半の長時間にわたり議論が行われ、すべての議案が終了した。最後に大石副理事長より締めのご挨拶を頂戴し閉会となった。

【出席者】（敬称略）
大石伸二（副理事長・大阪）、渡邊勲（委員・北海道）、野口義明（委員・山形）、大附泰久（委員・埼玉）、宮利介（委員・石川）、杉内勝成（委員・鳥取）、市川博一（委員・高知）、丹波英二（委員・熊本）、鎌田善和（研修指導員・渡邊英和（日里協）、大和田謙介（事務局・日装連）

防火壁装ラベルの電子申請
説明会の実施を検討

日装連では、4月7日13時30分より日装連会議室において防火・施工管理委員会を開催した。

初めに竹内担当副理事長より挨拶が行われ、続いて白石委員長のご挨拶後、会議次第に則り討議がなされた。

報告・審議事項
①2024年度ラベル支給実績について

まず事務局より2024年度のラベル支給枚数について、前年度との比較を交えて報告がなされた。防火ラベルについては前年比124%、敷物ラベルについては前年比109%と共に大きく前年を上回る実績となったことが説明された。一方、壁装ラベルについては前年比85%と低調に終わったとの説明がなされた。全ラベル合計で前年比108%となり前年を超える実績となったが、壁装ラベルの実績については課題が残る結果となった

②2024年度委員会事業報告（案）の承認について

続いて事務局より2024年度委員会事業報告（案）の読み上げがなされた。事業報告の内容にもあった壁装ラベルの印字ルール統一への各組合の対応について進捗状況を確認していき運用の徹底を図っていくこと、壁装ラベル申請システムの周知及び活用を進め、利便性向上や効率化を図っていくことなどが承認された。

④壁装ラベル申請システムの周知・運用について

今年度の委員会活動の大きな柱として位置付けている壁装ラベルの申請システムの周知及び運用について討議がなされた。

今後システム導入をしていく組合が増えていくことが予想されることから、操作方法など申請システムに関する説明会の実施などについて検討を行った。具体策は次回以降、さらに検討を進め実施していくこととした。

⑤建設キャリアアップシステム及び能力評価申請のワンストップ化について

これまで新規登録時は必ずレベル1のホワイトカードからスタートし、就業日数や資格要件に応じて後日、能力評価申請を改めて行う2段階方式で運用されてきた同システムにワンストップ化という新たな機能が実装され、新規登録と同時に能力評価申請ができるようになったことが報告された。これにより申請の手間が簡略化され申請者にとっての利便性が向上したことから、さらなる周知を日装連新聞等を通じて行っていくこととした。

最後に竹内担当副理事長より締めめの挨拶を頂戴し閉会となった。

【出席者】（敬称略）
竹内剛（副理事長・広島）、白石典正（委員長・京都）、中村純也（委員・秋田）、中村武久（委員・三重）、大和田謙介（事務局・日装連）

最新ニュースは『日装連ホームページ』へ
<http://www.nissouren.jp>

インテリア業界最新ニュース

行政機関からの指導・伝達

法律・法令

日装連からの情報伝達

日装連新聞 最新号&バックナンバー

イベントカレンダー

日装連スケジュール

日本室内装飾事業協同組合連合会（日装連）

「見える」防災・防火のある暮らし

検索

人材開発支援助成金 建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成）

支給申請に必要な書類

*受講修了日の翌日から2カ月以内

■共通

人材開発支援助成金 建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成）支給申請書	建技様式第3号
受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））の助成金支給申請内訳書	建技様式第3号別紙1
賃金台帳	写し
就業規則、雇用契約書、休日カレンダー等の受講者の所定労働日及び所定労働時間が分かる書類	写し
出勤簿、タイムカード（写し）等の訓練期間中の出席状況を確認するための書類	写し
実施日ごとの科目時間数が分かるカリキュラム	写し
登録教習機関等が実施する実習を受講させた場合、技能実習委託契約書（書式の参考として建技別様式第3号）、または受講申込書（訓練名称・期間・受講料等が明記されたもの）	写し
訓練実施主体が、所属する建設事業主団体であり、当該団体より経費助成の計画届が提出されておらず、中小建設事業主及び建設事業主が賃金助成賃金助成のみを申請する場合は、当該団体が証明した構成員内訳表	建技別様式第1号
その他管轄都道府県労働局長が必要と認める書類（経費助成の場合でeラーニングによって実施された訓練については修了証、賃金助成の場合で建設キャリアアップシステム技能者情報登録者の場合には、建設キャリアアップシステムから出力される技能者情報に係る書面、建設キャリアアップカードの写し等、登録を証する書面または、登録申請書の写し等、申請中であることを証する書面など）	

登録内装仕上工事基幹技能者講習

令和7年度

「人材開発支援助成金 建設労働者技能実習コース」賃金向上助成が上乗せに

厚生労働省は、「登録内装仕上工事基幹技能者講習」（主催・日装連、全室協、ジェイシフ）の受講に活用できる助成金制度「人材開発支援助成金 建設労働者技能実習コース」を、令和7年度も引き続き実施する。同助成金は、講習に掛かる費用を助成する「経費助成」と講習期間（3日間）の受講者の賃金を助成する「賃金助成」の二本立てで構成されている。講習費と従業員賃金が助成されるため負担が大幅に抑制できる。助成額は労働者数（20名以下か21名以上）や建設キャリアアップシステムへの登録の有無（登録者の場合1・

1倍）などによって異なる。

労働者数20名以下の場合

労働者数20名以下の事業者の場合、「経費助成」は講習費の75%、「賃金助成」は1日8550円となる。これを「登録内装仕上工事基幹技能者講習」に当てはめると、「経費助成」は2万7225円（講習費3万6300円の75%）、「賃金助成」は2万8215円（9405円×3日）となり、合計で5万5400円となる。

労働者数21名以上の場合

次に労働者数20名以上の事業者の場合であるが、「経費助成」については受講者の年齢によって異なる。35歳未満の労働者の場合、「経費助成」は講習費の70%、35歳以上の場合は講習費の45%となる。「賃金助成」は年齢に関係なく7600円である。

「経費助成」は同額だが、「賃金助成」は1日9405円に増額される。

人材開発支援助成金 建設労働者技能実習コース 助成金額例

■労働者数20人以下の場合

〈通常〉

経費助成	27,225円（受講料の75%）
賃金助成	25,650円（8,550円／人日）
計	52,875円

〈受講者が建設キャリアアップシステム登録者の場合〉

経費助成	27,225円（受講料の75%）
賃金助成	28,215円（9,405円／人日）
計	55,440円

【賃金向上助成・資格等手当助成】

経費助成5445円・賃金助成6000円 計11,445円を上乗せ

■労働者数21人以上の場合

〈受講者が35歳未満〉

経費助成	25,410円（受講料の70%）
賃金助成	22,800円（7,600円／人日）
計	48,210円

〈受講者が35歳以上〉

経費助成	16,335円（受講料の45%）
賃金助成	22,800円（7,600円／人日）
計	39,135円

〈受講者が建設キャリアアップシステム登録者／35歳未満の場合〉

経費助成	25,410円（受講料の70%）
賃金助成	25,080円（8360円／人日）
計	50,490円

〈受講者が建設キャリアアップシステム登録者／35歳以上の場合〉

経費助成	16,335円（受講料の45%）
賃金助成	25,080円（8360円／人日）
計	41,415円

【賃金向上助成・資格等手当助成】

経費助成5445円・賃金助成6000円 計11,445円を上乗せ

「登録内装仕上工事基幹技能者講習」に当てはめると、受講者が35歳未満の場合、「経費助成」は2万5410円（講習費3万6300円の70%）、「賃金助成」は2万2800円（7600円×3日間）で合計が4万8210円、合計が4万8210円、受講者が35歳以上の場合は、「経費助成」は1万6335円（講習費3万6300円の45%）、「賃金助成」は2万2800円（7600円×3日間）で合計が3万9135円となる。さらに受講者が建設キャリアアップシステムの登録者であれば、こちらも「賃金助成」が1日8360円に増額される。

申請は各都道府県の労働局、またはオンライン申請も可能

助成金の申請は、各都道府県の労働局で受け付けている。また厚生労働省が運営する「雇用関係助成金ポータル」にてオンライン申請も可能となっている。オンライン申請には「GビズID」が必要となる。

申請書類は表の通りで、受講修了日の翌日から2カ月以内に「支給申請書類」を提出する（通常、このような助成金申請は「計画届」が必要になるが、「登録内装仕上工事登録機関技能者講習」の場合は不要）。

賃金向上助成・資格等手当助成が上乗せ

また今年度より新たに、要件を満たすことで賃金向上助成・資格等手当助成が上乗せされる。資格等手当の支払いについては就業規則に規定されている。

国土交通省の

債権回収の不安を解消！

下請債権保全支援事業

代金を回収できるか不安…
新しい取引先で不安…
早く資金化したい…

そんな悩みを

国の制度で解消

しましょう！！

一般財団法人

建設業振興基金

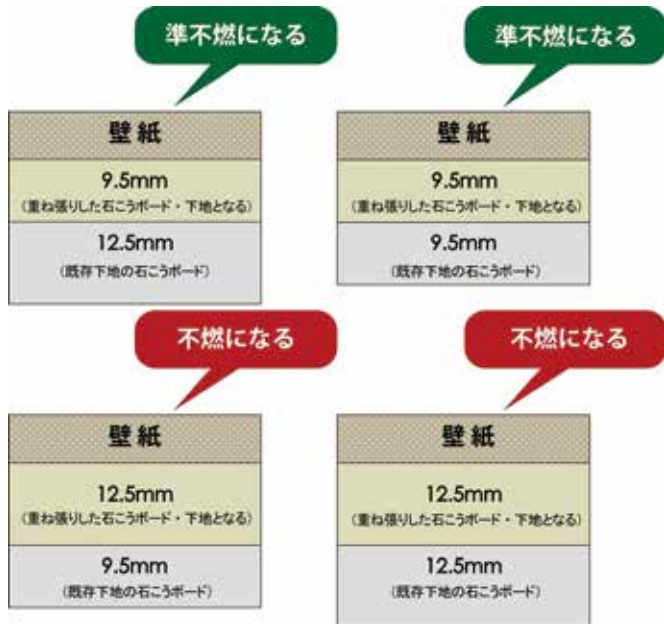
申込先

HP下部に記載のある「ファクタリング事業者一覧（PDF）」より、ご連絡をお願いします。
<http://www.kennetsu-bikin.or.jp/management/finance/nider-about.html>

今さら聞けない 防火壁装ラベルの話⑪

石こうボードを
2枚重ねて張ったらどうなる？

石こうボードを重ね貼りした場合の
不燃・準不燃の判断例



前回の「今さら聞けない防火壁装ラベルの話」(3月号)では、「9・5ミリ厚不燃石こうボード」問題について考

察したが、この問題に次いで多くの内装事業者が疑問を抱いているのが、「石こうボードを2枚重ねて張った場

合はどうなるのか」問題である。石こうボードを2枚重ねるケースとして考えられるのが、壁紙の

貼替え工事の際、壁紙を剥離したあとの下地の石こうボードがボロボロになってしまふなど、そのまま利用でき

ない場合だ。石こうボードを2枚重ねると総厚では19ミリになるが、壁紙を直接張ったのが9・5ミリ厚のため準不燃認定となる。同じように、重ねた下の石こうボードが12・5ミリ厚

であっても、直接壁紙を張ったのが9・5ミリ厚の石こうボードなら準不燃認定となる。その逆に、重ねた下の石こうボードが9・5ミリ厚でも、直接壁紙を張った石こうボード

が12・5ミリ厚なら不燃認定となる。壁紙を直接張った石こうボードが12・5ミリ厚なのか9・5ミリ厚なのか、それが重要ということだ。

「断る」勇氣 「イヤ」と言わないプロ魂

日 装 連 コラム ⑤①

どうしても請けたい工事、今欲しい仕事があります。その理由が会社のキャッシュフローが厳しい状態であったり、月間売上目標に到達させたい等であった場合は、少々お客様

の言動に気になることがある。コミュニケーションが取りづらく感じている、それは「何とかなるだろう」と工事受注に走

ってしまつことが多くありません。特に経営者は月末に支払うお金が気になって仕方なく、受注に躊躇気味の営業担当者「頑張

張ってやってね」とハッパを掛けてしまします。さてその結果、お客様は相変わらず優柔不断だったり無理な注文ばかりを言い、何回もプランや見積書を作り

直して、工事着工したら、やっぱりクレームが激しく工事はやり直しを強いられ、挙句に大赤字を招くことになる。このような事例はよく耳にします。

こうなった原因は、相性が合いそうもないお客様とコンビを組んでしまったこと。いくらかお客様から工事依頼されても、二人三脚で行うリフォーム工事で

は、息が合わなければ、転ぶことは予感できるわけで、そこではムダな努力を費やす前に勇氣をもって断ることが賢明でしょう。また最近、リフォーム業者が探しのマッチングサイトで見積り依頼される消費者がクレーム的であつたり、AIによる依頼も散見されるので注意したいところで



す。一方で、お客様からの難しい要望は原則として断らない、イヤと言わない事業者も多く存在しており、実現不可能と思われる造作や仕上げを手間暇かけてでも実現するプロ魂の事業者。当然にお客様の満足度は高く、評判が広がって次々と紹介客が増える傾向にあります。

この場合の「断らない」は、互いの意思疎通ができず、こちらの意向を受け入れないような消費者をそもそも排除したうえであり、「難しい」の意味も高度な技術や特殊な仕上げ、ふつうでは行わ

ないような施工などにチャレンジを要するようになることです。住宅リフォームは住まい手の幸福と一緒に創り上げるものだけに、生活者と私たちがパートナーになって信頼関係を築いたうえで同じ方向に向かうことができます。ですから私達も「断ること」「イヤと言わないこと」はどちらも同じく重要でしょう。

日 装 連 ではこれから仲間たちの考えや思いを聞くことができる場面を増やして参りたいと考えています。まずは日 装 連へのご入会を心よりお待ちしております。

人材育成基礎講座2025 6月12・13日に開催

NIF

一般社団法人日本インテリア協会・広報委員会は、2025年度事業である「人材育成基礎講座」(リアル講座)を、6月12日(木)にサンゲツ品川ショールームにて、6月13日(金)に東り東京ビル地

下会議室にて行う。「人材育成基礎講座」は、NIFが昭和58年よりインテリア業界に就業する社員の育成を目的に、毎年開催している基礎講座。業界に入つたばかりの社員から中堅社員まで毎年多数が受講している。

講習科目は「カーペット」「プラスチック床材」「壁紙」「ウィンドトリートメント」「カーテン」の5科目。初日(6月12日)に「ウィンドトリートメント」「カーテン」、2日目(6月13日)に「壁紙」「カーペット」「プラスチック床材」の講義を行う。

受講料は、6月12日のみの場合でNIF会員が1万1000円(税込)、会員外が1万4300円(税込)、両日参加の場合でNIF会員が1万2100円(税込)、会員外が1万4300円(税込)、両日参加の場合でNIF会員が1万4300円(税込)、会員外が1万6500円(税込)となっている(対象科目の公式テキスト・講師資料付き)。

参加申込期間は4月20日(金)～5月20日(火)まで。またオンライン開催(Zoomウェビナー)も後日実施する予定である。

出展者募集を開始

NIF

一般社団法人日本インテリア協会は、来る11月19日(水)～21日(金)の3日間、東京ビックサイト南館で開催される「JAPANTEX2025」の

あたりに、4月24日(木)14時30分より、出展募集説明会をAP浜松町、およびオンラインにて開催する。説明会では「JAPANTEX2025」概要説明



に続き、特別講演「設計者・デザイナーが本当に望んでいる展示手法とは」(講師・竹村尚久氏)を行う。申し込みはQRコードにて。

日装連の キャラクターマーク



日本室内装飾事業協同組合連合会

今回は「しあわせを紡ぐインテリア空間」未来を彩るモノとコト」を開催アーマとし、しあわせを感じられるインテリア空間を彩る製品・サービスを募集



〈組合員リフォーム事業の支援部門〉

ご登録お待ちしております!

*登録には建設業許可並びに建築施工管理技士又は建築士免許が必須要件となっております



国土交通大臣登録「住宅リフォーム事業者団体」

お問い合わせは 事務局まで

一般社団法人 日装連リフォーム推進協議会(略称:日 装 連)

<https://www.nichirikyo.com>

TEL:0120-970-133 FAX:03-6721-5389 E-mail:info@nichirikyo.com



「ホームタコス エアレ」新発売 バッテリー仕様が登場

立川ブラインド



調光タテ型ブラインド「エアレ」

立川ブラインド工業は、調光タテ型ブラインド「エアレ」をリニューアル、電動タイプの「ホームタコス エアレ」をラインナップするなど5月1日に新

発売する。

調光タテ型ブラインド「エアレ」は、生地をU字に吊り下げたデザインがつくりだすカーテンのような美しいフォルムとタテ型ブラ

インド同様の調光機能、そして生地と生地の間を自由に出入りができる機能性で2024年2月の発売以降人気となっている。今回のリニューアル



「ホームタコス エアレ」の2つの電動仕様

壁紙見本帳「ルノンフレッシュ」発刊 新シリーズ「アルフェイス」登場

ルノン



新シリーズ「アルフェイス」

ルノンは、ホテルやオフィス、医療・福祉

に差し込むだけですぐに使用可能で、「電源分岐ジョイント」仕様なら最大10台を接続できる。またバッテリー仕様はコンセントがなくても電動化が可能で、1回の満充電(約3時間)で約3カ月使用できる。さらに専用アプリを使用すれば、ホームタコスを含む対応家電・設備を一括管理でき、外出先からの遠隔操作も可能となる。

2028)を、4月24日に発刊を開始する。「ルノンフレッシュ」のメインとなる「クラフトライン」は、工芸品のような深みのある

など多様な施設空間向けに、不燃認定壁紙をはじめ高付加価値のデザインと機能を追求めた壁紙見本帳「ルノンフレッシュ2025」

テクスチャーと自然の情景や自然物のインスピレーションから生まれる美しいデザイン・カラーが特徴の壁紙シリーズ。今回は7つの新しいパターン、インクジェット壁紙3パターンの計10パターンを追加施工例写真も刷新し改めてデザインとカラーを訴求する。

また、前回発行時にインテリアショップ「アクトラス」とのコラボレーションにより登場したブランド「NORD IC Board」では、前回発行時に

「ECOS」の新柄 iD-1600・1700発売

スミノエ

スミノエ インテリアプロダクツは、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」の新柄としてiD-1600 シャイニーミストとiD-1700 ルナリックを新発売した。シャイニーミストは、朝露に濡れた草原や空に浮かぶ雲の流れ、泡と共に揺蕩う水面など心に刻まれたあらゆる

ツリー)のインクジェット壁紙が加わった。さらに新シリーズとして、新印刷テクノロジー「アルフェイス」が登場した。刷製法」を活用し本物の素材感を実現した不燃認定壁紙シリーズ「アルフェイス」が登場した。

話室



ワーク&ライフバランス

広島組合副理事長 池田君美

皆様、はじめまして。広島県福山市で小さなカーテン縫製工場を営んでいますM・A・D・O株式会社の池田と申します。

唐突ですが皆様、縫製工場というどんなイメージをお持ちでしょうか? おそらく、「家内工業で家族と少ない従業員が薄暗く壊れかけのプレハブで汗水たらしながら、ひたすら同じ作業を繰り返す時間がおもむろに過ぎていく」といった劣悪な労働環境といったイメージではないでしょうか。

私がこの縫製工場を立ちあげたときは30代半ば、今でも一緒に頑張っているスタッフも同年代が多く、10代・20代と究極に若いスタッフもいます。そんな私たちは1990年代が青春真っ只中。世の中には様々な音楽があふれ、テレビではバラエティ、アニメ、映画などたくさんさんの刺激に囲まれました。いまも登り中です。そんな私たちが日々業務をするようになるのか。そうなのです。

刺激がないと仕事もできない。NOMUSICNOWORK。100坪ほどある工場内はいくつものスピーカーが設置され、毎日POPS、ROCKが爆音でながれ、テンションを上げつつ皆さんのカーテンを運搬プレーで仕上げていきます。一度音楽を70年代フォークソングにかえたことがありましたが、知っているアーティストも少ないし、聞き続けていると若干気分が下がってしまい、それにもない効率も下がったこと

を覚えています。人は単純な生き物です。工場内は音楽以外にも機械の音が上乗せされ、少々の音量では相手に伝えることはできません。必然とうちのスタッフはコミュニケーションをとるために大声を出さなくてはならず、きつと腹筋と丹田が鍛えられ、知らない間に病気になるくらいに体作りをしていることでしょう。服装も自由なため、ネイル・ピアス・カラコン・エクステ・ヘアブリーチ・アクセなどなど働く人間もエネルギーが溜まることになりました。

好きな音楽を聴く。好きなファッションに身を包む。そして頑張る。これぞワーク&ライフバランスなのです。

「かんたん ウチリモ 内窓」引違い窓発売 取り付け部が最小47ミリでも設置可能

YKK AP



最小47ミリで設置可能

YKK APは、最小47ミリあれば設置可能な樹脂製内窓「かんたんウチリモ 内窓」引違い窓を、7月7日に新発売する。

現在、「先進的窓リノベ事業」の実施により同社の「マドリモ内窓 プラマードU」の販売数量は、2022年度と比べ約2.5倍と大きく拡大している。その一方で、築年数が古い木造住宅など

では、窓額縁の見込み寸法が小さくふかし枠が必要になることで、施工性や意匠性を理由に内窓設置を断念するケースもあった。

今回発売される「かんたんウチリモ 内窓」引違い窓は、こうした課題を解決するべく、引違い窓の見込みを薄くし、さらに枠を室内側に持ち出す「枠持ち出し納まり」により、窓額縁の取り付け寸法が最小47ミリあればふかし枠がなくても取り付け可能としたもの。施工性はもちろん、意匠性が向上し費用も抑えることができる。な、今回の新商品発売とともにシリーズ名を「かんたん マドリモ 内窓 プラマードU」から「かんたんウチリモ 内窓」に変更する。

「タチカワブラインド 新製品発表会2025」 全国15会場で開催



シャイニーミスト

をテーマに「タチカワブラインド新製品発表会2025」を開催する。新製品の展示をはじめ、ウェルビーイングをキーワードに心と身体の健康に着目した4つのライフスタイルの提案や電動製品の体感などができる。



立川ブラインド工業は、全国15会場にて「タチカワブラインド」で満たされる心と暮らし

北

か

ら

南

か

ら

日装連単組
レポート

Mar. 20253

工事基幹技能者講習申込案内を全組合員に送付。
13日 日装連東北ブロック会議(リモート)開催。野口理事長が出席。

12日 上田理事長及び坪山・関本副理事長、監査役1名出席により令和7年3月末組合決算予想報告会開催。
15日 令和6年度法定防火壁装講習会開催。53名が受講。

装協第46回オンライン講習会期間限定YouTube配信。テーマ「長尺シートその5目地溶接」。
3日 大附理事長組合事務所執務。

清氏。理事長が出席。
13日 千葉県中小企業団体第55回通常総会。藤間理事長が出席。
14日、19日 技能検定他について打合せ(教育委員会)。菅沼副理事長、川村委員長が出席。

会開催。椎津理事長、副理事長3名、理事14名、監事2名、合計20名が出席。
17日 工事研究会ラベンチミーティング。椎津理事長、原会長他委員2名、事務局1名合計5名が出席。

12日 防火壁装講習会・新規。新規加入者1名が受講。講師・渡邊専務理事。
同日 防火壁装講習会・新規。新規加入者1名が受講。講師・渡邊専務理事。

務理事、邑田主任が出席。
28日 防火壁装講習会・新規。新規加入者2名が受講。講師・渡邊専務理事。
31日 期末棚卸作業。

席。※日ID社内検定1級合格証書が宮本外次理事相談役【日装連理事長】から藤田竹宏理事に授与された(写真別掲)。
26日 三役会開催。三役3名(宮理事長・西川副理事長・林副理事長)が出席。

会連合会第64回理事会。浜本理事長出席。
同日 福井県職業能力開発協会第94回理事会。浜本理事長出席。
同日 福井県中小企業団体中央会税理士相談。中央会堀井氏、高間税理士、事務局員が出席。

北海道ブロック

北海道

18日 会計監査依頼文送信。
21日 三役会案内送信。

28日 前期技能検定受検申請書発送。

東北ブロック

青森

13日 対馬理事長と事務局にて事業運営打合せ。
同日 日装連東北ブロック会議(リモート)開催。対馬理事長が出席。

秋田

19日 三役会開催。
7日 第206回理事会を開催。野口理事長他合わせて5名が出席。

11日 令和7年度技能検定受検案内を全組合員に送付。
12日 登録内装仕上

13日 東北ブロック会(リモート会議)開催。7名が出席。(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・北海道理事長) 19日 福島県建設専門工事業団体連合会第24回通常総会。名畑理事長が出席。

25日 県北支部役員会開催。5名が出席。
31日 会報「県室協ニュース」第56号を発行。

4日 群馬県職業能力開発協会技能検定説明会。出席者・首席が出席(渡邊理事長、佐藤理事、船津監事)。

同日 群装協三役会・(株)ホシケン様との会談・3月度理事会。渡邊理事長他13名、事務局中川氏、Zoom出席7名、計21名。

7日 住宅リフォームエキスパート増改築相談指導員講習会。福島理事が出席。
8日 群装協青年部親睦会。青年部員9名が出席。

27日 群装協三役会開催。渡邊理事長、久保田副理事長、都丸副理事長、高橋副理事長、倉持副理事長、小澤専務理事、事務局が出席。
31日、4月13日 群

12日 令和6年度官公需普及促進懇談会(千葉県中小企業団体中央会)。議題・「中小企業が発注機関から受注していくためには」(株)LGブレイクスルー執行役員川畑隆一氏。懇談・「官公需受注に向けた取り組みについて」千葉県中小企業団体中央会専務理事斉藤

4日 広報委員会・環境研究会開催。安田委員長、村田会長他委員4名、事務局3名合計9名が出席。
同日 青年部次世代委員会。奥崎委員長他委員3名、事務局2名合計6名が出席。

10日 総務委員会開催。池上委員長他委員2名、事務局2名合計5名が出席。
12日 正・副理事長会開催。椎津理事長、副理事長3名、事務局2名、合計6名が出席。
同日 3月定例理事

岩手

14日 理事会を開催。堀口理事長、上田理事、徳田理事、佐々木理事、高橋監事、事務局が参加。

茨城

4日 白田理事長、小野瀬専務理事打合せ。茨城組合令和6年度通常総会について。
18日 白田理事長打合せ。日装連関東ブロック会通常総会について。

21日 白田理事長組合事務所執務。茨城組合50周年記念品及び感謝状等打合せ。

5日 上田理事長及び事務局において令和7年2月の組合収支状況及びラベル発行・売上状況の確認・打ち合わせを実施。
同日 組合員に対し令和7年度前期技能検定試験の受験案内を通

6日 ラベル会員に対し令和7年度前期技能検定試験の受験案内

12日 令和6年度官公需普及促進懇談会(千葉県中小企業団体中央会)。議題・「中小企業が発注機関から受注していくためには」(株)LGブレイクスルー執行役員川畑隆一氏。懇談・「官公需受注に向けた取り組みについて」千葉県中小企業団体中央会専務理事斉藤

4日 広報委員会・環境研究会開催。安田委員長、村田会長他委員4名、事務局3名合計9名が出席。
同日 青年部次世代委員会。奥崎委員長他委員3名、事務局2名合計6名が出席。

10日 総務委員会開催。池上委員長他委員2名、事務局2名合計5名が出席。
12日 正・副理事長会開催。椎津理事長、副理事長3名、事務局2名、合計6名が出席。
同日 3月定例理事

3日 令和7年度前期技能検定試験に係る申請書の配布。渡邊専務理事が出席。
4日 創立50周年記念事業座談会。テーマ・内装業界の継続、発展を議論。県西部総合職業技術校・井上校長、県内装仕上技能士会・本間会長、(有)インテリア情報企画・善明社長、キャリアコンサルティング・安井様、福本理事長、渡邊専務理事、邑田主任が出席。

5日 防火壁装講習会・新規。新規加入者1名が受講。講師・渡邊専務理事。
同日 事務局だより第54号発信。内容・技能検定試験案内他。

17日 忠政会総会。平岡専務理事が出席。
18日 富山支部役員会開催。内山支部長他3名が出席。
同日 富山県中央会青年部研修会。沼田青年部長が出席。

28日 執行部打ち合わせ。川西副理事長、

宮城

5日 令和7年度技能検定試験打合せ。備前検定委員長が出席。
13日 東北ブロックWeb会議。高橋理事長が出席。

岩手

14日 理事会を開催。堀口理事長、上田理事、徳田理事、佐々木理事、高橋監事、事務局が参加。

4日 白田理事長、小野瀬専務理事打合せ。茨城組合令和6年度通常総会について。
18日 白田理事長打合せ。日装連関東ブロック会通常総会について。

21日 白田理事長組合事務所執務。茨城組合50周年記念品及び感謝状等打合せ。

5日 上田理事長及び事務局において令和7年2月の組合収支状況及びラベル発行・売上状況の確認・打ち合わせを実施。
同日 組合員に対し令和7年度前期技能検定試験の受験案内を通

6日 ラベル会員に対し令和7年度前期技能検定試験の受験案内

12日 令和6年度官公需普及促進懇談会(千葉県中小企業団体中央会)。議題・「中小企業が発注機関から受注していくためには」(株)LGブレイクスルー執行役員川畑隆一氏。懇談・「官公需受注に向けた取り組みについて」千葉県中小企業団体中央会専務理事斉藤

4日 広報委員会・環境研究会開催。安田委員長、村田会長他委員4名、事務局3名合計9名が出席。
同日 青年部次世代委員会。奥崎委員長他委員3名、事務局2名合計6名が出席。

10日 総務委員会開催。池上委員長他委員2名、事務局2名合計5名が出席。
12日 正・副理事長会開催。椎津理事長、副理事長3名、事務局2名、合計6名が出席。
同日 3月定例理事

3日 令和7年度前期技能検定試験に係る申請書の配布。渡邊専務理事が出席。
4日 創立50周年記念事業座談会。テーマ・内装業界の継続、発展を議論。県西部総合職業技術校・井上校長、県内装仕上技能士会・本間会長、(有)インテリア情報企画・善明社長、キャリアコンサルティング・安井様、福本理事長、渡邊専務理事、邑田主任が出席。

5日 防火壁装講習会・新規。新規加入者1名が受講。講師・渡邊専務理事。
同日 事務局だより第54号発信。内容・技能検定試験案内他。

17日 忠政会総会。平岡専務理事が出席。
18日 富山支部役員会開催。内山支部長他3名が出席。
同日 富山県中央会青年部研修会。沼田青年部長が出席。

28日 執行部打ち合わせ。川西副理事長、



石川組合 日ID社内検定合格証書授与

連合会理事会・異業種交流会に荻野委員長、栗田副委員長が出席。

静岡

11日 日装連情報・流通委員会へ鷹尾理事長が参加。

19日 2024年度特別総務委員会開催。鷹尾理事長、副理事長(3名)、事務局県氏が出席。

21日 組合倉庫の変更に伴う、器材・部材搬入搬出作業。倉庫内の器材・部材の棚卸も同時実施。阿部信行氏、阿部雅樹氏、事務局県氏が出席。

24日 労災保険の等級変更者届出。事務局県氏が出席。

25日 2025年度親睦ゴルフ大会開催。

鷹尾理事長他5名が出席。

27日 労災保険の脱会者、新規加入者の届出。事務局県氏が出席。

28日 倉庫器材・部材貸出者からの返却立合い。事務局県氏が出席。

15日 日装連情報・流通委員会。鈴木理事長が出席。

19日 愛装協総務委員会開催。

26日 愛知県中小企業団体中央会正副会長会・理事会・役員懇親会。鈴木理事長が出席。

三重

行事、事業等なし。

3月には、理事会は開催せず。

11日 紛争処理支援センター(主催)。7名が受講。「大阪会場」として事務局施設を提供。

10日 ID・教育資格委員会(リモート形式)。鈴木理事長、大石副理事長が出席。

25日 大阪府中小企業団体中央会役員会。鈴木理事長が出席。

3月は通常の組合業務のみ。

奈良

12日 理事会開催。安田理事長、城野副理事長、松下副理事長、山口専務理事、山口(恵)理事、池田理事、播理事、高田理事、古川事務局が出席。

25日 三役会議を開催。

和歌山

6日 床材工事をラックにする講習会。出席者・受講者19名【内、会場スタッフ(担当理事)6名】、事務局。同日 三役会議開催。東端理事長、浦口副理事長、松坂副理事長、谷本専務理事、事務局が出席。

18日 和歌山県職業能力開発協会令和6年度第2回理事会に東端理事長が出席。

28日 W.I.D.A.青年部会議。松岡青年部長他、青年部7名が出席。

30日 W.I.D.A.青年部事業「海南UNDER AGE」壁紙パネル製作。松岡青年部長、早水理事、東端(秀)氏、松坂理事が出席。

12日 東部支部ガラストフィルム技術講習会。(株)サンゲツによる講習会。22名参加。同日 島根県商工労働部中小企業課門脇課長、後藤課長補佐、三島主任に公共工事随意契約等公式文書交付のお願い並びに打ち合わせ(再)。三島理事長、事務局が出席。

17日 令和6年度中国ブロック青年中央会第2回研究会。中国ブロック青年中央会三島宗祐会長(有装束)が出席。

18日 鳥取組合杉内理事長ID他打ち合わせ。三島理事長が参加。

24日 島根県庁表敬訪問、中小企業課打ち合わせ結果報告並びにお礼。(島根県側)島根県政策企画局秘書課持田課長。(組合側)三島理事長、事務局。

26日 理事会を開催。理事9名、監事2名、事務局、計12名が出席。

27日 雲南市表敬訪問、工事発注、分離発注要書提出。(雲南市側)石飛厚志雲南市長、管財課富山課長。(組合側)三島理事長、長岡副理事長、太田副理事長、内田専務理事、事務局(写真別掲)。

19日 「中央会第4回役員会」に高田副理事長が出席。

26日 三役会を組合事務局で開催、今期の決算について打ち合わせ。

同日 広報・渉外委員会。平副理事長ほか4名が出席。

〈青年部会〉

24日 正副部会長会議開催。世良部会長ほか2名が出席。

14日 広島県中小企業団体中央会理事会に岡田理事長が出席。

同日 教育情報委員会開催。岡田理事長、濱本副理事長ほか3名が出席。

徳島

記載事項なし

香川

11日 防災業務臨時講習会。講師・本郷副理事長。1名が受講。

同日 防火壁装臨時講習会。講師・仲山副理事長。1名が受講。

13日 第373回理事会開催。藤井理事長他8名が出席。

4日 定例理事会を開催。久保理事長他13名が出席。

17日 臨時四役会を開催。久保理事長他4名が出席。

26日 施工委員会検定トライアル準備。濱田施工委員長他2名が出席。

愛媛

記載事項なし

山口

14日 山口県中小企業団体中央会理事会に岡田理事長が出席。

同日 教育情報委員会開催。岡田理事長、濱本副理事長ほか3名が出席。

四国ブロック

19日 「中央会第4回役員会」に高田副理事長が出席。

27日 日装連新聞(善明氏)新理事長インタビュー。岡田理事長が出席。

同日 広報・渉外委員会。平副理事長ほか4名が出席。

24日 正副部会長会議開催。世良部会長ほか2名が出席。

14日 広島県中小企業団体中央会理事会に岡田理事長が出席。

同日 教育情報委員会開催。岡田理事長、濱本副理事長ほか3名が出席。

広島

5日 事務局長採用面接。岡田理事長ほか2名が出席。

14日 広島県中小企業団体中央会理事会に岡田理事長が出席。

同日 教育情報委員会開催。岡田理事長、濱本副理事長ほか3名が出席。

九州ブロック

11日 防災業務臨時講習会。講師・本郷副理事長。1名が受講。

同日 防火壁装臨時講習会。講師・仲山副理事長。1名が受講。

13日 第373回理事会開催。藤井理事長他8名が出席。

4日 定例理事会を開催。久保理事長他13名が出席。

17日 臨時四役会を開催。久保理事長他4名が出席。

26日 施工委員会検定トライアル準備。濱田施工委員長他2名が出席。

福岡

11日 日装連情報流通委員会。福岡組合から村上情報流通委員長が出席。

12日 博多法人会主催「決算説明会」。入口職員が出席。

同日 福岡県中小企業団体中央会第6回理事会。松山理事長出席。

13日 福岡組合三役会、令和6年度第4回理事会開催。松山理事長以下理事15名出席。

18日 福岡県技能士連合会第2回理事会。松山理事長が出席。

同日 福岡県中小企業団体中央会情報連絡員・景況調査員合同会議・講習会。平田専務理事が出席。

同日 福岡県中小企業団体中央会訪問、令和7年度補助金申請について打合せ。

19日 登録内装仕上工事基幹技能者登録更新の件、福岡組合の登録更新者6名全員の更新を確認し日装連へ報告。

21日 北九州支部総会の案内発信、4月25日開催(福岡支部総会は4月8日、筑後支部総会は4月26日)に開催。

25日 日装連九州ブロック会議資料の作成依頼(現状報告と要望)を各県へ発信。

31日 決算業務。

佐賀

12日 防火壁装・防災業務講習会開催(前回欠席者・新規)。

21日 佐賀県職能協会理事会に森田理事が出席。

同日 理事長・事務局打合せ。

28日 青年部長・事務局打合せ。

大分

3日 令和7年度前期技能検定打合せ会議。事務局員が出席。

11日 第5回理事役員会開催。理事7名、監事1名、相談役、事務局員が出席。

14日 成良理事長・事務局で業務打ち合わせ。

25日 組合ホームページ更新。

宮崎

3日 令和7年度前期技能検定受験案内を告知。

4日 創立50周年事業実行委員会。役員6名・事務局が出席。

同日 第5回創立50周年記念事業実行委員会の案内通知。

6日 令和7年度第1回理事会の案内通知(開催予定日・4月30日)。

11日 2025年度【新規】登録内装仕上工事基幹技能者講習の案内を告知。

14日 監事による令和6年度会計業務監査依頼書送付。川池監事。

25日 三役会開催。理事長他三役が出席。同日 理事会を開催。理事長他理事が出席。

鹿児島

18日 役員会議開催。前畑理事長他役員5名が出席。

24日 令和4・5年度取引力強化推進事業補助金に係る補助事業実績報告書作成。県中央会新濱氏来所、事務局長が出席。

沖縄ブロック

5日 令和7年第3回防災防火講習会を開催。講師・沖縄県組合事務局長宮里亮徹氏。防災業務講習会52名、防火壁装講習会20名が参加。

12日 令和7年第4回防災防火講習会を開催。講師・沖縄県組合事務局長宮里亮徹氏。防災業務講習会64名、防火壁装講習会16名が参加。

14日 外国人準3級検定が実施され、事務局の宮里氏が補佐として参加。検定員・玉城聡氏。受験者1人(インドネシア)。

沖縄

5日 令和7年第3回防災防火講習会を開催。講師・沖縄県組合事務局長宮里亮徹氏。防災業務講習会64名、防火壁装講習会16名が参加。

14日 外国人準3級検定が実施され、事務局の宮里氏が補佐として参加。検定員・玉城聡氏。受験者1人(インドネシア)。

滋賀

10日 令和7年度滋賀組合研修旅行の案内を組合員・準組合員に送付。

11日 令和7年度前期技能検定の案内を全組合員と非組合員に送付。

12日 令和7年度登録内装仕上工事基幹技能者講習の案内を組合員に送付。

25日 会計監査前打ち合わせ。眞神税理士、中山理事長と三役が出席。

5日 令和7年度前期技能検定事務説明会

京都

7日 住宅リフォームエキスパート指導員(臨時)研修会(リモート形式・住宅リフォーム)

3日 島根県商工労働部中小企業課門脇課長、後藤課長補佐、三

中国ブロック

島主任に公共工事随意契約等公式文書交付のお願い並びに打ち合わせ。三島理事長、事務局が出席。

4日 三役会開催。三島理事長、長岡副理事長、内田専務理事、細木相談役、事務局が出席。

5日 東部支部役員会開催。

11日 下請取引適正化・価格転嫁サポートセミナー(島根県商工労働部中小企業課、しまね産業振興財団共催・一部オンライン受講)。

岡山

13日 「職業能力開発協会第95回理事会」に、高田副理事長が出席。

徳島

記載事項なし

香川

11日 防災業務臨時講習会。講師・本郷副理事長。1名が受講。

同日 防火壁装臨時講習会。講師・仲山副理事長。1名が受講。

13日 第373回理事会開催。藤井理事長他8名が出席。

愛媛

記載事項なし

山口

14日 山口県中小企業団体中央会理事会に岡田理事長が出席。

同日 教育情報委員会開催。岡田理事長、濱本副理事長ほか3名が出席。

四国ブロック

19日 「中央会第4回役員会」に高田副理事長が出席。

26日 三役会を組合事務局で開催、今期の決算について打ち合わせ。

同日 広報・渉外委員会。平副理事長ほか4名が出席。

24日 正副部会長会議開催。世良部会長ほか2名が出席。

14日 広島県中小企業団体中央会理事会に岡田理事長が出席。

同日 教育情報委員会開催。岡田理事長、濱本副理事長ほか3名が出席。

広島

5日 事務局長採用面接。岡田理事長ほか2名が出席。

14日 広島県中小企業団体中央会理事会に岡田理事長が出席。

同日 教育情報委員会開催。岡田理事長、濱本副理事長ほか3名が出席。

九州ブロック

11日 防災業務臨時講習会。講師・本郷副理事長。1名が受講。

同日 防火壁装臨時講習会。講師・仲山副理事長。1名が受講。

13日 第373回理事会開催。藤井理事長他8名が出席。

4日 定例理事会を開催。久保理事長他13名が出席。

17日 臨時四役会を開催。久保理事長他4名が出席。

26日 施工委員会検定トライアル準備。濱田施工委員長他2名が出席。

福岡

11日 日装連情報流通委員会。福岡組合から村上情報流通委員長が出席。

12日 博多法人会主催「決算説明会」。入口職員が出席。

同日 福岡県中小企業団体中央会第6回理事会。松山理事長出席。

13日 福岡組合三役会、令和6年度第4回理事会開催。松山理事長以下理事15名出席。

18日 福岡県技能士連合会第2回理事会。松山理事長が出席。

同日 福岡県中小企業団体中央会情報連絡員・景況調査員合同会議・講習会。平田専務理事が出席。

同日 福岡県中小企業団体中央会訪問、令和7年度補助金申請について打合せ。

19日 登録内装仕上工事基幹技能者登録更新の件、福岡組合の登録更新者6名全員の更新を確認し日装連へ報告。

21日 北九州支部総会の案内発信、4月25日開催(福岡支部総会は4月8日、筑後支部総会は4月26日)に開催。

25日 日装連九州ブロック会議資料の作成依頼(現状報告と要望)を各県へ発信。

31日 決算業務。

佐賀

12日 防火壁装・防災業務講習会開催(前回欠席者・新規)。

21日 佐賀県職能協会理事会に森田理事が出席。

同日 理事長・事務局打合せ。

28日 青年部長・事務局打合せ。

大分

3日 令和7年度前期技能検定打合せ会議。事務局員が出席。

11日 第5回理事役員会開催。理事7名、監事1名、相談役、事務局員が出席。

14日 成良理事長・事務局で業務打ち合わせ。

25日 組合ホームページ更新。

宮崎

3日 令和7年度前期技能検定受験案内を告知。

4日 創立50周年事業実行委員会。役員6名・事務局が出席。

同日 第5回創立50周年記念事業実行委員会の案内通知。

6日 令和7年度第1回理事会の案内通知(開催予定日・4月30日)。

11日 2025年度【新規】登録内装仕上工事基幹技能者講習の案内を告知。

14日 監事による令和6年度会計業務監査依頼書送付。川池監事。

25日 三役会開催。理事長他三役が出席。同日 理事会を開催。理事長他理事が出席。

鹿児島

18日 役員会議開催。前畑理事長他役員5名が出席。

24日 令和4・5年度取引力強化推進事業補助金に係る補助事業実績報告書作成。県中央会新濱氏来所、事務局長が出席。

沖縄ブロック

5日 令和7年第3回防災防火講習会を開催。講師・沖縄県組合事務局長宮里亮徹氏。防災業務講習会52名、防火壁装講習会20名が参加。

12日 令和7年第4回防災防火講習会を開催。講師・沖縄県組合事務局長宮里亮徹氏。防災業務講習会64名、防火壁装講習会16名が参加。

14日 外国人準3級検定が実施され、事務局の宮里氏が補佐として参加。検定員・玉城聡氏。受験者1人(インドネシア)。

沖縄

5日 令和7年第3回防災防火講習会を開催。講師・沖縄県組合事務局長宮里亮徹氏。防災業務講習会64名、防火壁装講習会16名が参加。

14日 外国人準3級検定が実施され、事務局の宮里氏が補佐として参加。検定員・玉城聡氏。受験者1人(インドネシア)。



しまね組合 安来市表敬訪問

最前線 探訪

97

新理事長に聞く

広島組合

2024年度に新たな理事長が誕生した8つの組合を訪問し、新理事長の方針を聞くシリーズ「新理事長に聞く」。5番目にご登場いただくのは広島組合の岡田展政理事長(株マルケン装飾)である。広島組合といえば、昨年度に設立20周年を迎えた青年部会の活発な活動で知られている。特に高校生に対する出前授業(職業体験授業)は先行事例として全国的に注目が集まっている。

その初代青年部長を務めたのが竹内剛前理事長で、岡田展政理事長は3代目の青年部長であった。また竹内理事長時代には副理事長として組合の発展に寄与、まさに青年部時代から長きにわたって広島組合の事業運営に尽力してきた岡田理事長に、今後の広島組合のさらなる進化の方向性を伺った。

時代に合った事業を行うための 組織改革を実行

「これからの組合には、今の時代にあった事業をすぐに立案・実行することが求められています。その

ための体制を整えるべく、まずは組織改革を行いました」と岡田理事長は語る。広島組合では、総務

岡田理事長



「若手研修会」参加者

委員会、教育情報委員会、事業委員会、広報渉外委員会(広報委員会から改称)という4委員会を設置、4人の委員長とともに、これまで2人の副理事長が2委員会ずつを管掌してきた。岡田理事長の就任後は副理事長を4人体制とし、委員会ごとに1人の副理事長を直結、そうすることで委員会が検討された内容や三役会での決定事項をすぐに共有・実行できる体制とした。それと同時に、委員会

主体で事業計画を立案し、予算案まで立てるような主体的な運営に移行した。

「これまでは、どちらかというと事務局が主体となっていました。組合員に必要な事業とは何かを一番理解しているのはやはり我々だと思っています。理事も多忙のため難しい部分も多いのですが、課題などを拾い出しながら必要となる新たな事業を実行していきたいと思っています」

委員会主体で新事業を実施 若手の「定着」に向けた施策に注力

その成果の一つとして、昨年10月には事業委員会が発案した若手社員向けの「若手研修会」をサンゲツショールームで開催した。

現在、内装業界では人手不足、担い手不足が大きな問題となっているが、せっかく入社してもすぐに辞めてし

「これは、ど

「参加者はもちろん、組合員からもかなり評判はよかったですね。こうした若手研修会は継続して実施していきたいと思っています」

ちなみに人材確保に

「このように組織改革を実行し、委員会主体の新たな事業をスタートさせている岡田理事長が、今もとても重視している取り組みが情報交換の入り手・発信・共有である。」

最優先課題は情報共有 必要な情報を迅速に伝える仕組み構築へ

「理事長になり、組合、あるいは中国フロック会として国交省など行政機関と情報交換させていたことが増えたのですが、実は行政ではさまざまなことに取り組んでいるにもかかわらず、それを我々が知らない、理解していない、ということがとても多いことに気がしました。組合にはさまざまな情報が入ってきますが、我々に知識が足りなければその情報の重要性が認識できませんし、それでは情報を入手したことはなりません。もっと勉強する必要があります。また入手できないとしても、それを発信し組合員と共有する仕組みがなければ伝えることはできません。こういった仕組みづくりを最優先課題として取り組みたいと思っています」

「共有する仕組みとしては、現在制作中の組合員専用ページに加えてメールやSNSなどを活用したDX化は不可欠である。そこで総務委員会が中心となり組合員実態調査アンケートを準備中で、メールアドレスやSNSアカウントなども調査するなど情報共有の仕組みを模索中だ。」

「実態調査ができれば、組合員の業態も明らかになり、どのような事業が必要なのかも明確になります。情報共有の仕組みの構築とともに課題の拾い出しも実施します」

「このような情報共有のあり方は、日装連とも構築できればと思っています。例えば、宮本理事長は法定福利費問題の改善を重点課題に掲げていますが、我々も地元で働きかけることで効果は高まると思っています。中央と地方が連携して内装業界を良くしていきたいですね」と語る岡田理事長であった。

国交省・中国地方整備局との
意見交換会



「理事長になり、組合、あるいは中国フロック会として国交省など行政機関と情報交換させていたことが増えたのですが、実は行政ではさまざまなことに取り組んでいるにもかかわらず、それを我々が知らない、理解していない、ということがとても多いことに気がしました。組合にはさまざまな情報が入ってきますが、我々に知識が足りなければその情報の重要性が認識できませんし、それでは情報を入手したことはなりません。もっと勉強する必要があります。また入手できないとしても、それを発信し組合員と共有する仕組みがなければ伝えることはできません。こういった仕組みづくりを最優先課題として取り組みたいと思っています」

建築業界にピッタリなクラウドツール

お好きな帳票デザインができる!

見積・請求書
作成なら

Goolip®

最大2ヵ月
無料

無料トライアルは
専用サイトから!



専用サイトにて導入事例掲載中!



ユーザー様の声

株式会社 デイエイ・オーサカ様
小坂田社長

<https://www.goolip.jp/works/transfer/post-6.php>

KLASS株式会社

TEL : 03-6660-8830

✉ : info@goolip.jp

Goolip 検索

全300種類以上 エコマーク付き

水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」



あらゆる空間に、イノベーションを。
SUMINOE
GROUP

廃棄されるタイルカーペットを新しいタイルカーペットへ再生